

『命を救う』 救急看護認定看護師 としての思い

救急看護認定看護師 外来 秋元由紀

救急外来で多くの患者、家族と接する中で、看護師として『命を救う』とはどういう事なのか、医学的側面が多い救急医療の現場で看護師として出来る事は何なのか、『目の前にいる人の命を救いたい』という強い思いから救急看護の分野に興味を持ちました。

ある日突然発生し、急激な変化によって生命を脅かされている状況では患者本人だけでなく、家族の方々も不安や危機感をいただきます。この様な救急状況では患者本人と言語的意思疎通が出来ない事もあり、意思決定が家族や保護者にゆだねられる事もあります。さらに、病気や怪我により家庭や仕事に関する問題も発生し、家族の方々の精神的負担は増幅します。

この様な救急状況で、『命を救う』と言う事は単に『命が助かる』と言う事に留まらず、社会復帰なども見据えて身体的、精神的障害を最小限に留める様な援助を、患者だけでなく家族の方々にも提供するという事が看護師として必要な援助ではな



いかと思ひ、医療者と言う立場でありながらも、患者、家族の方々の身近な存在となり、その立場に寄り添い支えて行きたいと思ひました。

緊迫した場面も多く、一日中走り回っている様な事もある救急医療の現場ですが、私の原点である『目の前にいる人の命を救

『院内トリアージ』を紹介します

救急外来には昼夜を問わず様々なニーズを持った方々が受診し、来院方法も様々です。

重症患者が歩いて来院するなんて事も少なくありません。そこで当院救急外来では、昨年の4月からトリアージナースの育成やシステム作りを始め、現在11名のナー스가救急外来で活躍しています。『院内トリアージ』は災害時のトリアージとは異なります。『院内トリアージ』とは患者さんの主訴や身体状況から緊急度・重症度の高い患者が優先的に診療を受けられる様に診察順位を判断していきます。

救急外来では
緊急性の高い患者を
優先する為
トリアージを行います



当院救急外来を受診される際には、診察の順番が前後する事があります。皆様のご理解、ご協力をお願い致します。

